

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社 アース	事業所名	看多機サボテン
所在地	(〒270-2203) 千葉県松戸市六高台 3-77		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 複合型サービスの一体化のメリットを十分に発揮し、利用者様の個別性に合わせた柔軟な支援を行い、在宅生活を支えています。 ・ 終末期、ご自宅のみでは難しい医療ケアのある方を、主治医・多職種の関係機関との連携を密に行い、ご本人・ご家族に寄り添った支援を行っています。 ・ 24 時間、365 日対応で、安全安心な生活ができるサービスを提供します。
--

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 11 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(13) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 27 日	出席人数 (合計)	(7) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (2 人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (____ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (____ 人) <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 (2 人) <input type="checkbox"/> その他 (____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)</p>	<p>① 理念の明確化 パンフレットなどを用い、会社・事業所の理念について説明を行った。</p> <p>② 各スタッフのスキルに合わせた年間目標・計画を立案し、実施する。定期的に面談を行い指導、助言をする。</p> <p>③ コロナ禍での社内研修への積極的な参加</p> <p>④ 就業規則に沿って安全、安心できる職場環境の整備</p> <p>⑤ ミーティング、カンファレンスで情報共有</p> <p>⑥ マニュアルの再確認、整備</p> <p>⑦ 手順書の再確認、整備</p> <p>⑧ 環境整備</p> <p>⑨ 事故報告書の共有</p> <p>⑩ 災害時緊急体制</p>	<p>① 毎週月曜日の朝礼にて、会社理念の読本を用い、理念が深められるようにしている。</p> <p>② 会社のスキルアップファイルを活用し行っている。</p> <p>③ オンライン研修などを活用し、月に2回の研修を行っている。</p> <p>④ 引き続き行っている。</p> <p>⑤ 週1回のミーティングを行っている。</p> <p>⑥ 随時更新していつている</p> <p>⑦ 随時更新している</p> <p>⑧ 常日頃より衛生的で安全な環境整備を行っている</p> <p>⑨ ファイルに保管し、いつでもだれでも閲覧できるように整理している</p> <p>⑩ BCPの作成と随時見直し</p>	<p>① 継続して出来ている</p> <p>② 継続して出来ている</p> <p>③ 継続して出来ている</p> <p>④ 継続して出来ている</p> <p>⑤ 継続して出来ている</p> <p>⑥ 継続して出来ている</p> <p>⑦ 継続して出来ている</p> <p>⑧ 継続して出来ている</p> <p>⑨ 継続して出来ている</p> <p>⑩ BCPのミーティングを行い、BCPの内容をスタッフ全員で共有し、多くのスタッフからの意見を元に、より当事業所に合った内容に今後もアップデートしていく。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11)</p>	<p>① 情報共有し、専門性を持った視点での計画書の作成</p> <p>② カンファレンスにより情報の共有</p> <p>③ 利用者のニーズに合わせたプランを</p>	<p>① 状態や生活環境の変化などの際には計画書の随時更新</p> <p>② 週1回のカンファレンス</p> <p>③ ①同様</p>	<p>① 継続して出来ている</p> <p>② 継続して出来ている</p> <p>③ 継続して出来ている</p> <p>④ 継続して出来ている</p>

	～27)	立てて臨機応変に対応していく。 ④ 医療ニーズの高い利用者や看取りの相談も積極的に受け入れられるような支援体制を構築する。	④ 松戸・柏市内の病院との情報交換や情報の共有を定期的に行う	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 他の事業所との合同研修の検討 ② 病院や訪問診療医とカンファレンスへの参加	① 研修委員会への意見としてあげている ② 近隣病院へ行き、退院後に向けての情報共有などを行っている	① 会社をあげての年1回の研究発表会を開催しており、外部の事業所の発表もある。より多くの外部発表の場を今後は設けていく方向である ② 継続して出来ている
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	① 地域で開催されるイベントへの参加 ② 地域とつながりを築けるように、施設の開放、施設でのイベントの開催 ③ 介護・看護相談の実施	① 民生委員を通してイベント参加の取り組みをしている ② 会社全体での、地域の方々に向けたイベントへの協力と参加 ③ 事業所前で目につくよう、印刷物の貼り出し等を行っている	① 積極的に参加していきっており、夏から秋にかけてのイベントにも参加予定が決まっている ② イベントがあれば積極的に参加 ③ 継続して行っていく
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		① 地域の医療ニーズの高い方、終末期の方、独居の方などの相談、支援を受け入れられるような体制を整備する。 ② 地域との交流(町会行事への参加) ③ 近隣の方々とのコミュニケーションを良好に保つ	① 積極的に終末期の方を受け入れるようにしており、断らない体制 ② 民生委員を通してイベント参加の取り組みをしている ③ 事業所前の清掃に取り組み、挨拶等を積極的に行っている	① 相談があれば、積極的に受け入れる体制を整えている ② 積極的に参加していきっており、夏から秋にかけてのイベントにも参加予定が決まっている ③ 継続して行っていく

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・理念を全職員で共有理解しようとする努力を感じる。 ・YouTube や QR コードの活用などやっていることが新しく良い。 ・感染を拡大させず対応できている。 ・残業が減ったというのは働く側としても良い事。家庭の時間が作れる ・大人数の事業所だと情報を全員に伝えるのは難しかったりするが、利用者側にとっては大切な事なので是非手段を考えていってほしい。 ・安全・安楽である事は非常に大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の理念のもと当事業所も開設され、事業所の存在意義を全スタッフが理解し、体現化していく事が今後の事業所としての発展にも繋がる。地域で多くの方に認知してもらい、地域により深く根ざしていく事が今後の最重要課題であり、そのことを改善計画に盛り込んでいく。 ・看多機は、個々の利用者様の様々なニーズに対応するため、サービスが個別性に富んでいる。そのため情報共有事項も多い。今後、より一層スピーディーに情報共有出来る手段を検討していく事を改善計画にする。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・プランの随時更新は大変であるが継続していく事が大切 ・人工呼吸器の方でも看多機利用できれば、地域で利用したい方も出てくるはず。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別性のある、専門性の高いプランの提供を継続していく。 ・高度な医療ニーズの高い医療ケアが提供できるよう、勉強会を行っていき、相談があった場合には速やかに対応できるように計画していく。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での対応で会議やミーティング研修のやり方がだいぶ変わり、定着できているのは良い事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力病院、地域や松戸市内の医療機関、多事業所との密な連携体制を今後も継続していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと地域のイベントに参加できる機会が増えるといい。 ・支援相談をどう増やしていくかが事業所としての課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な地域イベントへの参加を行っていけるよう、民生委員の方等の協力をえて、情報収集を定期的に行っていく。
III. 結果評価	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器の研修など大変だが、やっていけると利用者の幅 		

(評価項目 42～44)	<p>もひろがるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の向上の体制づくりをもっと具体的に取り組んでほしい。 ・コロナが落ち着いたら地域交流を活発にしてほしい。 	
--------------	--	--

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	6	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価よりも評価がアップしているのは良い事。 ・今後も家族のニーズに合ったプラン作成に尽力してほしい。 ・看取りもするのかと驚いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>①家族のニーズに合わせてケアマネとプランの組み立てを考えている。</p> <p>②ニーズに合わせて行っている。</p> <p>③歯磨き、食事など、出来るけれどしない方には声掛けをして自身ですて頂くように努めている。</p> <p>③利用者様の目線に立ち QOL の向上に取り組んでいる。</p> <p>③嚥下訓練、口腔体操を行っている。</p> <p>④家族にニーズに合わせてケアマネとプランの組み合わせを考えている</p> <p>④自宅での看取りの支援は医療行為が増</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		えることもあり、泊りなどの看取りが多くなっています。 ・独自の理念は明文化されていない。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	11				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	3	3	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・会社独自のスキルアップファイル作成はすごい。より活用していった質のUPに努めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくで
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で理念を読み合わせ、理解が深まるように取り組んでいる。 ・地域での立ち位置として在宅療養を地域で支える事。医療依存度が高くても、住み慣れた地域で在宅療養ができるようにサポートする。 ・理解は出来ているが実践し、まだ良い結果は得られていない。 ・通い、泊り、訪問、をスタッフが理解し行っている。 ・事業所の理念を意識して、実践するように心がけている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		し定期的に面談を行っている。 ・新しい方に教えることはあるが育成計画は作っていない。 ・会社の年間目標と個人の目標を立てて、それを達成できるように行動している。					きている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3	3	3	3	・研修に力を入れている。 ・Zoom の活用等、新しい取り組みですね。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
	[具体的な状況・取組内容] ・毎月研修計画にそって必要時は外部からの講師を招き研修を行っている。 ・少なくとも月に1回研修に参加し、出られない場合は夜勤の場合でもビデオ参加が可能である。研修での理解度を深めるためにレポートを提出している。 ・一部職員は資格取得のための研修を行っていない。 ・社外の研修に行けていない。 ・Zoom を活用し研修を行っている。						
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情	2	9	1		・情報共有の重要性。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・必要時カンファレンスを行っている。 ・週に数回カンファレンスを行い情報の共有や専門職の視点で意見している。 ・利用者情報共有ファイルに気付いた点や変化について新しい情報を記入し、全員チェック出来るようにチェックリストを活用している。 ・朝・夕の申し送りで情報共有している。					✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	6	3	1	・助言等を生かして事業所の中身を改善してくれるなら、このような会を開くことに意義がある。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことが	3	4	4	1	・休息は大切。	✓ 「職員が、安心して働くことので

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	できる就業環境の整備に努めている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・資格取得のための希望休の優先の配慮や、研修により技術力の向上 ・休憩時間、1時間は必ずとれるように組み、労働時間が延長にならないように利用者様のスケジュールを組んでいる。 ・早番・遅番などの勤務を行い勤務時間の延長を減らしている。 ・精神的な負担軽減のための支援は不十分だと思う。 ・有給休暇の実施や労働時間への配慮があります。 ・機器のメンテナンスがされていない。 ・人員が足りない期間があった。				・介護職も資格内容が色々あるので大変。 ・24時間365日営業になれば勤務時間帯も様々になる。 ・大変だけど取り組んでいてほしい。	きる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	5	7	1		・ICTの活用なども一つなのでは？ ・スタッフ側も情報を得る姿勢を大切にしてほしい。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者情報共有ファイルに利用者の最新情報を記入してスタッフが確認している。 ・新しい情報は1番前へ不在のスタッフ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>も共有できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に最新の情報になるようにミーティングしている。 ・申し送りノート、個人別援助計画資料、カンファレンスノートがスタッフで回覧、確認できるようにセットされている。 					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	2	8	2		<ul style="list-style-type: none"> ・委員会が色々あると聞いた。よく取り組んでいる。 ・もっと地域の方々にも防災訓練の声掛けをして一緒に参加してもらっては？ 	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において	1	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会でもそうだけど、災 	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供の</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	も、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	[具体的な状況・取組内容] ・年に2回防災訓練を行い、後日他の事業所と意見交換をしている。 ・AEDの始動確認 ・ポータブル電気器具の充電を週1回行っている。 ・連絡先リストを作成し、利用者家族ともに直ぐに連絡をとれるようにしている。 ・災害時におけるケアのマニュアルは作成していない。 ・ラインワークスの活用。				害時のマニュアルは見直しが大切。	ための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況	1	7	3	1	・新しい情報は随時更新して	✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者のアセスメントした物を読んでいる。 ・毎月1回以上訪問を行い、家族と話し、アセスメントの実施が可能となっている。 ・変化があった場合の更新がされていない。 ・家族との連携がスムーズに行かないこともある。 				いかないといけない。	し全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します <ul style="list-style-type: none"> ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種間で共有されている	1	9	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・看多機は医療ケアが多いので看護師はもっと情報提供等行っていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考え	1	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・できている評価が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	を把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている						成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	12			<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリも介入して、利用者さんの為に取り組んでいる。 ・CMさんは大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	9	2		<ul style="list-style-type: none"> 毎月毎月、計画書のサインは家族も大変。こういうのは改善できないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	1	12			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します 	
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		9	3		<ul style="list-style-type: none"> ・看多機は複合型サービスなので、各利用者にバランスよく利用してもらえるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	10			<ul style="list-style-type: none"> ・続けて行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎だけの方もおり、生活状況の把握しきれてないことも多い。 ・家族と会い定期的に訪問が出来、ケアのアドバイスや相談など不安解決が出来ている。 ・泊りや通所への要望が強く固執しているケースがある。 ・訪問によるケアの提供は少ない。 ・訪問を行って、食事、排せつ、衛生状況を観察して、スタッフ全員に意見、情報を共有している。 					
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有しているところは知るようにしている。 ・電話や FAX、チャットを使用、また報告書作成によって連絡は共有できている。 ・常に主治医とは連携が出来ている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・ 医師、理学療法士、ナース、ケアワーカーのチーム情報が共有されている。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	3	7	2		・ 役割を分担しながらも、一体化してやっていくことの大切さがある。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	9				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供は利用者の状況に応じて対応している。 ・ 医療ケアは看護師、日常生活ケアは介護士と分割分担しながら円滑に行っている。 ・ 役割分担があいまいである。 ・ 偏りが見られることもある。 					
		[具体的な状況・取組内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝の申し送り時に共有している。 ・ 共有ノート、カンファレンスで連携している。 ・ 利用者情報ファイルを利用して情報共有しミニカンファも定期的に行っている。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		る。 ・カンファレンスの回数を増やしたほうが良い。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復などの 観点から、情報提供や提案 等を行っている	1	11				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・必要な情報を受け、わからないことは聞いている。 ・どのような病気なのか説明されポイント（介護士上の）を説明できている。 ・情報提供は逐時行っている。 ・Ns.から多職種へもっと情報共有していくべき。					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく説明 し、利用者等の理解を得て いる	4	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・理解されていないと思うなら、どうしたら理解を得られるのか対応策を考えた方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・パンフレットや図を用い、どのような特徴があるのか良く理解できるように契約前に施設を見学して頂き説明に十分な時間を要し説明している。 ・出来る限り分かり易く説明し理解を得					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		ている。 ・理解されていないかもしれない。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	3	7	1	1	・理解されていないと思うなら、どうしたら理解を得られるのか対応策を考えた方がい。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・契約時に大きな時間をかけ、その後も文章や手紙電話にてご説明が出来ている。 ・分かり易い言葉・調子で説明している。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	8		2		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・個別に確認、説明、定期訪問を行っている。 ・何度も繰り返し説明し、できるようになるまで指導している。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	4	6	1	1	・ACP シートの活用なども検討してはどうか？	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・リビングウィルや終末期のご説明、医師からと家族の意思決定が複数の場合は、用紙で頂いている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・意向の確認は常に行い反映させている。 ・CM がしっかりニーズを把握し行っている。 					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	2	7	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・状況を把握し鑑みて対応策を検討している。 					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	5	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい所だが、大切な役割。管理者、CM が中心にやる事。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・往診医と家族が話せるように配慮している。 ・主治医を中心として説明する機会を設けている。 ・記録している。 					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援してい	3	8		1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファ
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・退院前カンファレンスに参加している。 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントで情報共有している。 ・Hp、施設とは常に連携、共有できている。 					<p>「レンズへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</p>
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	3	7	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	2	9	1			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	2	8		2	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと易しい内容の看多機の説明があると良い。 ・看多機のメリットをアピールすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		4	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者、市役所へは配布している。 ・誰でも見ることができるような情報発信は出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域にお		5	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な啓発活動」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いて果たす役割等について、 正しい理解を広めるため、地 域住民向けの積極的な啓発 活動が行われている						評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地 域説明会の実施」などの取組が考 えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的と した活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極的 に実施している	1	3	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう利用の仕方が出来 る事を知らなかった。 ・訪問看護ステーションの役 割なのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併 せて受けている事業所」のみが対 象です。該当しない場合は、実施 状況欄は無記入で、[具体的な状 況・取組内容]欄に「指定なし」と記 入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看 護」を実施していない場合 は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要 介護者を受け入れることが できる体制が整っており、積	5	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・24 時間出来ていると利用す る側は安心。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	極的に受け入れている					<ul style="list-style-type: none"> ・たん吸引対応のスタッフが 24h 体制で整っている。 ・ノウハウもあり積極的に受け入れている。泊り時も含む。 ・吸引研修を済ませているスタッフがいる。 	<p>が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		3	4	5	<p>・出来たら地域により根差せると思う。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・バイパップの受け入れ実績はあるが、体制は整っていない。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	6	1		<p>・家と事業所の両方で看ながらやっていると家族の負担が減る。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・自宅、看多機での看取りは数多く行っておりノウハウもある。</p> <p>・利用者様が病院退院等から施設に来られても医療ニーズにも対応できる体制が出来ている。</p> <p>・実際に受け入れ支援している。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		5	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	3	4	5			<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域		6	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ミーティングで行っている ・ホームページやFBなどで地域へ発信している。 ・地域ケア会議に出席し課題提起などしている。					組]について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	1	3	5	3	・取り組めると、もっと看多機を知ってくれる人が増えると思う。	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組]について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり でき て い な い	全く でき て い な い		
							場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・身体状況が変わり、達成しきらずのことがあった。 ・なかなか達成はできていない。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・インスリン・点滴 etc 実施し安心してもらっている。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅	1. ほぼ全ての利用者について、達成され		✓ 在宅での看取りを希望する利用者お

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>ている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで利用されて看取った利用者様のご家族からは感謝されている。 ・何度も看取りの希望を聞き、意向に沿うようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・続けてほしい。 	<p>よびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」